



2020年3月期 決算説明資料

2020年 6月18日
日本ドライケミカル株式会社
代表取締役社長 遠山 栄一

※本動画は6月18日（木）に収録したため、6月29日（月）に公表いたしました「2020年3月期決算短信の一部訂正について」に関する内容は反映されておられません。

2020年3月期 連結決算サマリー

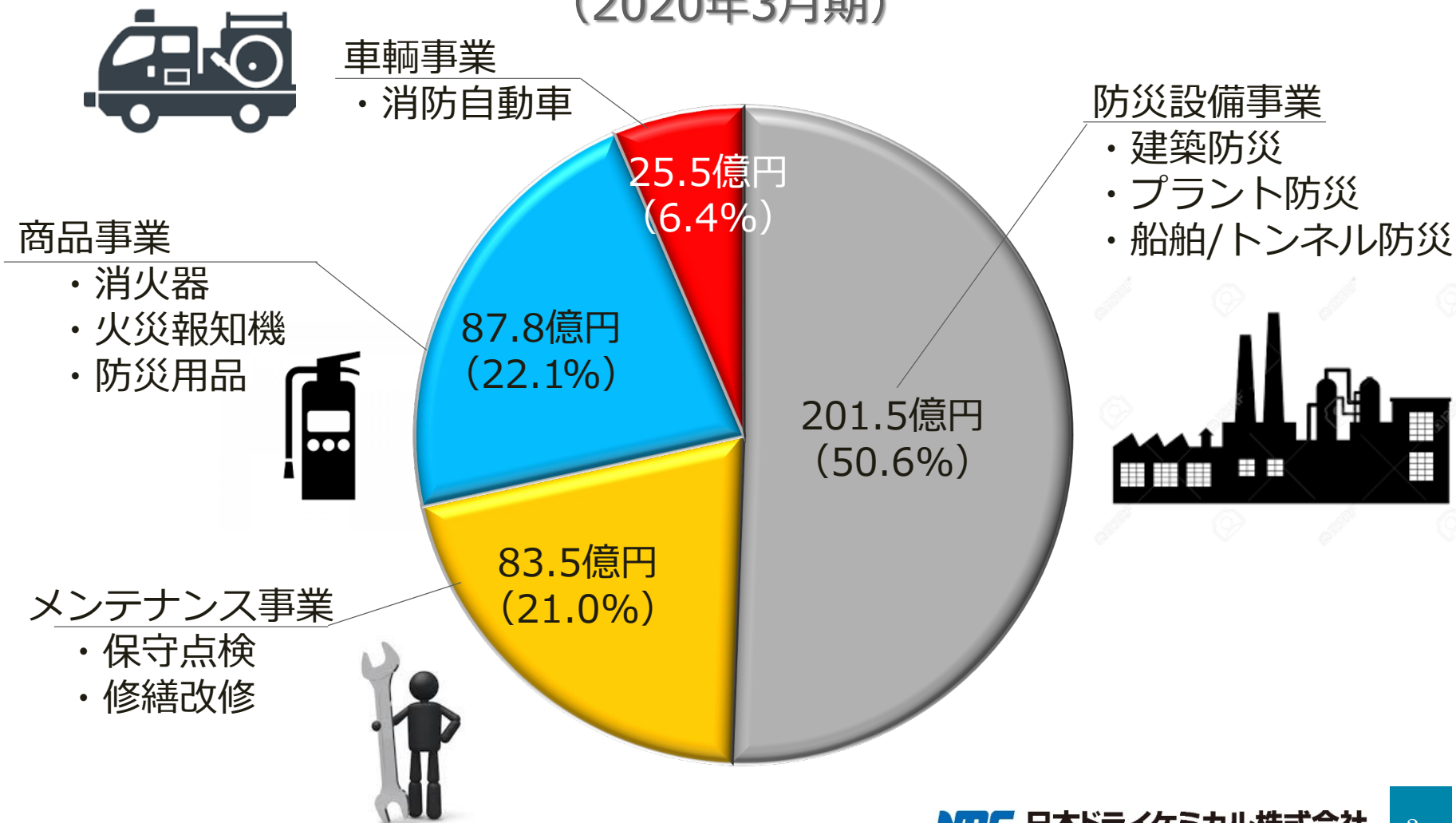
連結売上高は39,846百万円となり、対予想比、対前期比ともに大きく上回りました。採算性の高い工事案件が進捗したことなどにより、営業利益は過去最高の2,924百万円となりました。

(百万円)

	19/3実績	20/3期首予想	20/3実績	対前期比
売上高	36,304	39,000	39,846	3,542
営業利益	1,702	2,260	2,924	1,221
営業利益率	4.7%	5.8%	7.3%	2.6ポイント
経常利益	1,739	2,300	2,421	682
経常利益率	4.8%	5.9%	6.1%	1.3ポイント
親会社株主に帰属する当期純利益	1,116	1,430	1,584	468
1株当たり当期純利益	157円61銭	201円94銭	224円12銭	66円51銭
自己資本当期純利益率	9.2%	—	12.0%	2.8ポイント
純資産	12,550	—	15,897	3,347
自己資本比率	44.7%	—	33.6%	△11.1ポイント
1株当たり純資産	1,772円37銭	—	1,979円13銭	206円76銭

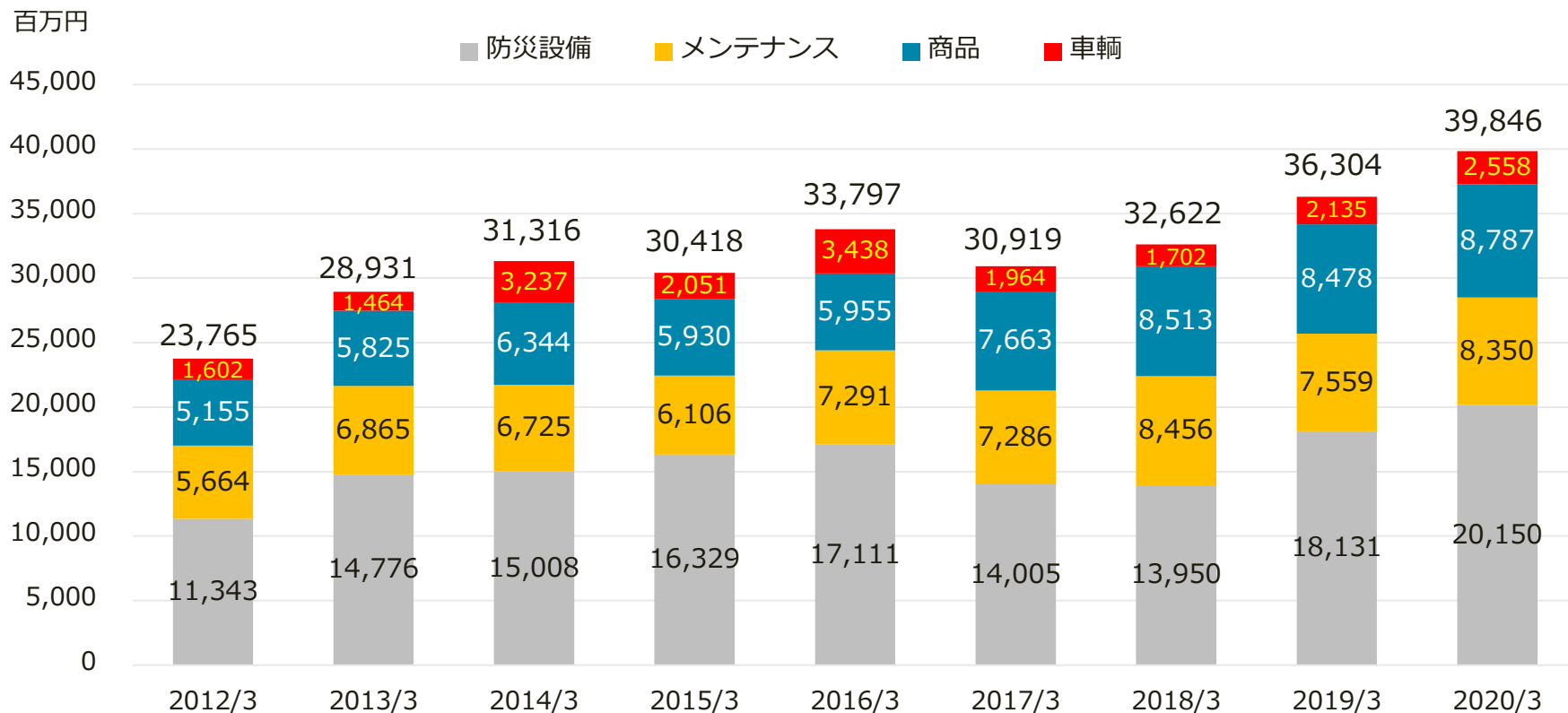
営業種目別 売上構成比

連結売上高 = 398億4,686万円
(2020年3月期)



連結業績推移

連結売上高



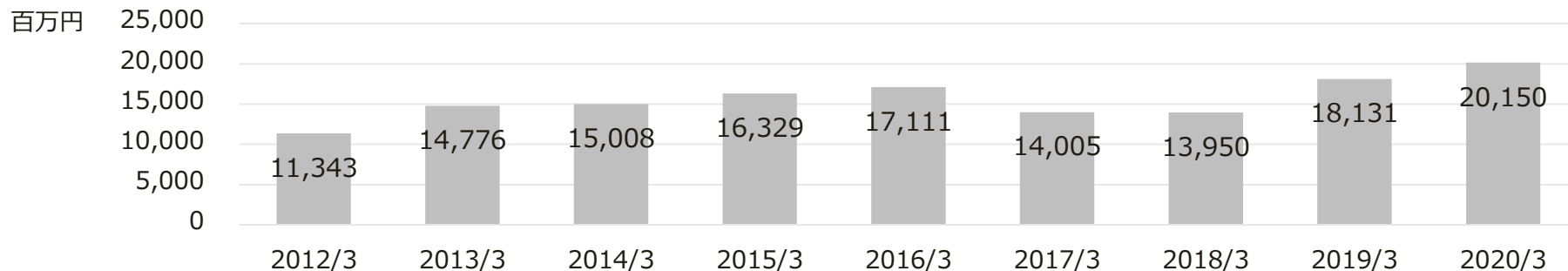
営業利益 (百万円)	1,041	1,612	1,688	1,568	1,865	1,268	1,109	1,702	2,924
---------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

営業利益率 (%)	4.4	5.6	5.4	5.2	5.5	4.1	3.4	4.7	7.3
--------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

営業種目別業績推移

防災設備

連結売上高



売上総利益 (百万円)	1,506	2,034	2,627	3,494	3,739	2,759	2,694	3,806	4,705
売上総利益率 (%)	13.3	13.8	17.5	21.4	21.9	19.7	19.3	21.0	23.4

事業内容

- ・ 建築防災（新設工事／リニューアル）
- ・ プラント防災（新設工事／保守・改修）
- ・ 船舶設備（新設工事／機器販売）
- ・ トンネル防災（新設工事／改修）

主要取引先

- ・ ゼネコン、サブコン（電気・空調衛生）
- ・ 電力会社、石油・化学会社 等

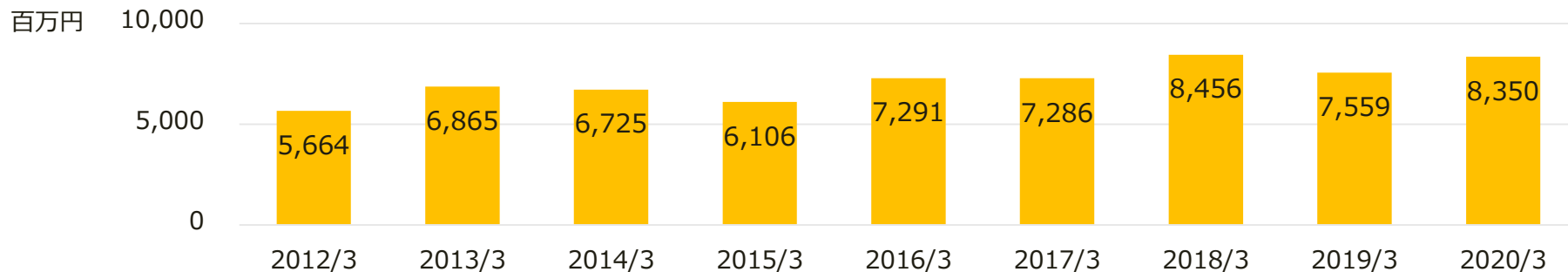
火災の感知・報知から消火まで、
建物にあわせた最新の防災システムを提供。



営業種目別業績推移

メンテナンス

連結売上高



売上総利益 (百万円)	2,286	2,940	2,766	2,178	2,501	2,642	3,162	2,869	3,246
売上総利益率 (%)	40.4	42.8	41.1	35.7	34.3	36.3	37.4	38.0	38.9

事業内容

- ・点検（年2回の法定点検）
- ・修繕／改修工事

主要取引先

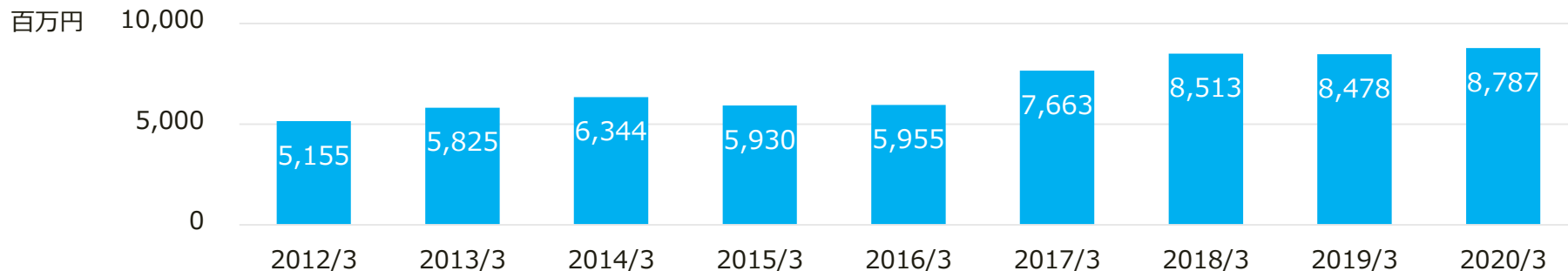
- ・施主、建物所有者
- ・ビル管理会社、マンション管理会社

消防用設備等は、有資格者による定期点検と、その報告が義務付けられています。



営業種目別業績推移 商品

連結売上高



売上総利益 (百万円)	744	772	689	516	532	1,104	1,170	1,105	1,203
売上総利益率 (%)	14.4	13.3	10.9	8.7	8.9	14.4	13.7	13.0	13.7

事業内容

- ・各種消火器、防災機器の販売
- ・防災用品の仕入販売
- ・小規模な防災設備の施工

主要取引先

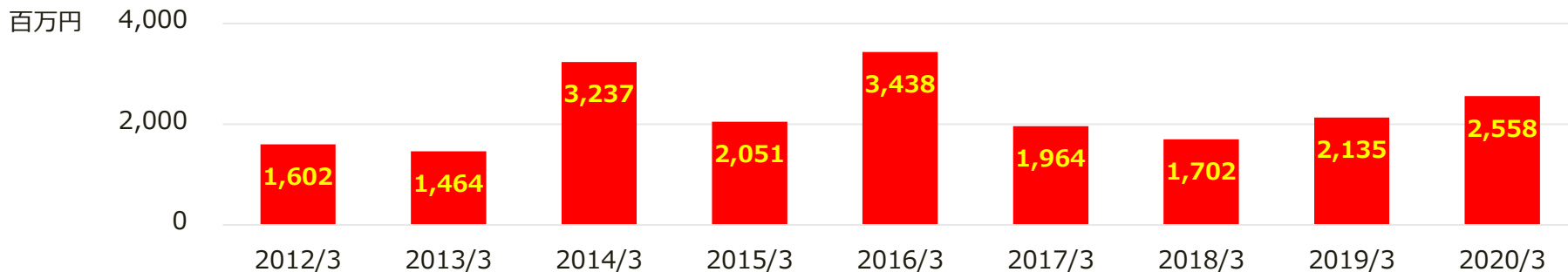
- ・エクステン会、代理店、防災会社等

NDCは、アルミニウム製消火器のパイオニア
特長は、軽量・耐食性・リサイクル性です。



営業種目別業績推移 車輛

連結売上高



売上総利益 (百万円)	173	121	573	229	562	71	△161	118	274
売上総利益率 (%)	10.8	8.3	17.7	11.2	16.3	3.6	-	5.5	10.7

事業内容

- ・ 各種消防自動車の受注設計／製造
- ・ 各種特殊車両の受注設計／製造

主要納車先

- ・ 官公庁、消防署
- ・ 電力会社、石油化学会社 等

NDCの消防自動車は、
専門的なニーズに最新の技術で応えます。



化学消防ポンプ自動車



粉末専用車

連結貸借対照表

(百万円)

	2019/3/31	2020/3/31	対前期比	増減率
資産の部				
流動資産	19,713	26,767	7,054	35.8%
固定資産	8,342	15,131	6,788	81.4%
有形固定資産	5,259	8,844	3,584	68.2%
無形固定資産	1,371	1,456	85	6.2%
投資その他の資産	1,712	4,830	3,118	182.1%
資産合計	28,056	41,899	13,843	49.3%
負債の部				
流動負債	13,444	19,702	6,258	46.6%
固定負債	2,061	6,199	4,138	200.7%
負債合計	15,505	25,901	10,396	67.1%
純資産の部				
株主資本	12,182	13,413	1,231	10.1%
資本金	700	700	-	-
資本剰余金	3,620	3,620	-	-
利益剰余金	7,977	9,349	1,372	17.2%
自己株式	△116	△256	△140	121.1%
その他の包括利益累計額	368	442	74	20.1%
非支配株主持分	-	2,141	2,141	-
純資産合計	12,550	15,997	3,446	27.5%
負債純資産合計	28,056	41,899	13,843	49.3%

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	2019/3	2020/3	対前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,837	△676	△3,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	△563	△4,273	△3,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△965	4,658	5,624
現金及び現金同等物の増減額	1,306	△301	△1,607
現金及び現金同等物の期首残高	2,363	3,669	1,306
現金及び現金同等物の期末残高	3,669	3,650	△19

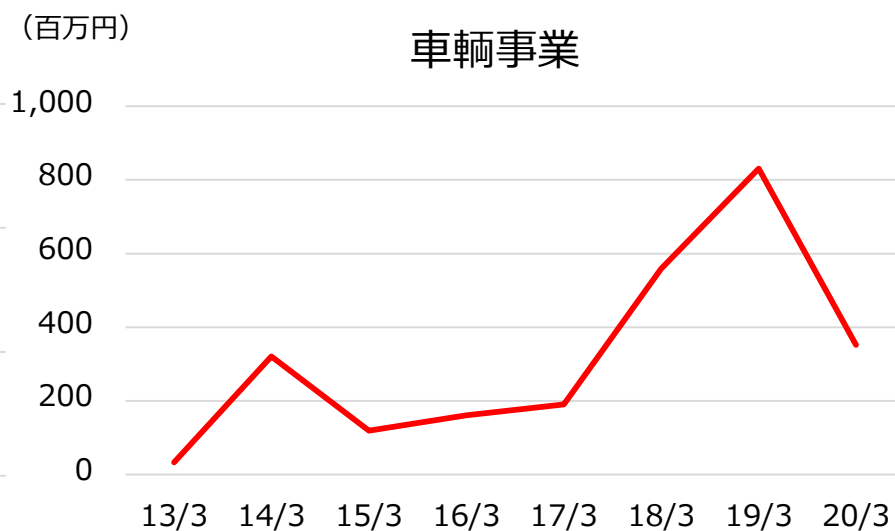
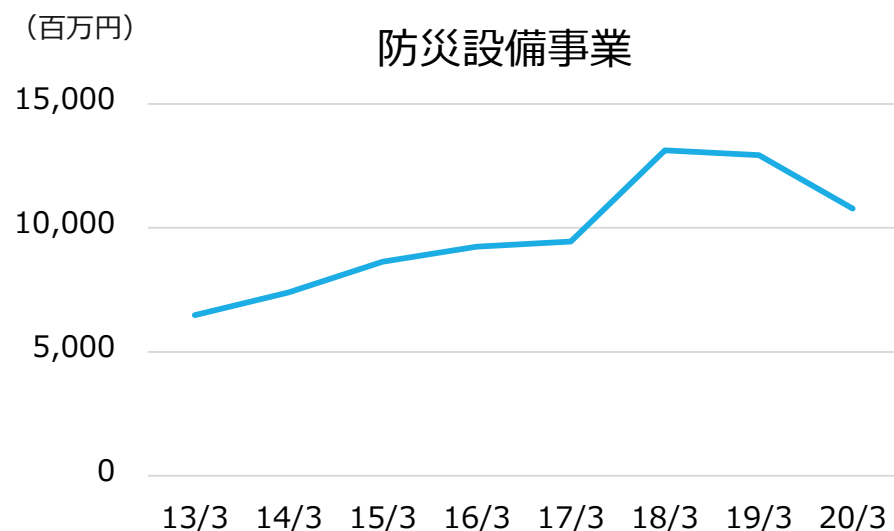
当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出、貸付による支出等により4,273百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長短借入れによる収入等により4,658百万円の収入となりました。

受注残高推移

(百万円)

	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
防災設備事業	6,479	7,403	8,635	9,240	9,449	13,132	12,942	10,776
車 輜 事 業	33	321	119	161	191	559	831	352
合 計	6,513	7,724	8,754	9,401	9,640	13,691	13,773	11,129

※メンテナンス事業と商品事業は受注と販売がほぼ同時期に成立するため、受注残高は記載していません。



2020年3月期は、都市再開発等の大型案件、リニューアル案件に係る受注は引続き好調でありましたが、多くの工事が期内で進捗したため、受注残高は前年同期比で減少いたしました。

連結業績予想

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による連結業績への影響を、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。

今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響等について

- ・受注活動、営業活動に与える影響
 - 工事が中止になれば防災設備事業の業績に影響する見込み
- ・製造活動、購買活動に与える影響
 - 工場は通常どおり稼働。部材等の購買活動に与える影響なし
- ・その他
 - 緊急事態宣言発令時にはテレワーク実施など、臨機応変に対応
現在も時差出勤を実施するなど、感染防止対策に努めている



成長戦略

さらなる飛躍へ

百年、2百年、3百年を生き抜く企業へ

NDCの成長戦略

◇ 経営課題

収益基盤の強化

◇ 目標・成果

製品およびサービスの差別化

独自の防災製品・防災システムを開発

◇ 主要な経営施策

アライアンスの強化

研究開発体制の強化

提携先の技術や製品・システムを活用

自火報と消火にかかる技術の融合

研究開発体制の強化

日本の消防機器を世界スタンダードへ
NDCはチャレンジする消防機器メーカー



NDC独自の防災製品・システムを開発

従来の発想にとらわれない製品開発

提携先の技術や製品、システムを活用した開発

開発に向けた人員及び設備の増強

- 消防防災に100%の答えはありません
- 想定していない火災事例も起きており、消防機器メーカーが成すべきことは無限にあります
- NDCは、100%の答えに近づく努力をすることで、安心・安全に寄与していきます

プレミアム消火器



Premium
プレミアム

追求したのは、より確かな安全です。

ハイグレード消火薬剤高含有

NDCプレミアム90-3K

消火器個体管理システム SmartXtn対応

高性能型

プレミアム消火器

普通火災



A-3

油火災



B-7 (従来品) ▶ B-12

B火災能力単位が **1.7** 倍に!

電気火災



C

こんなところにオススメ

プラント、危険物施設、工場、可燃性ガス製造施設、ガソリンスタンドなど



プレミアム消火器

比べれば、その差は一目瞭然

リン酸アンモニウム濃度 約40%
(一般的な業務用消火器)



消火時間: 10.5秒

リン酸アンモニウム濃度 約90%
(高性能型消火器)



消火時間: 4.5秒

結果、従来の消火器に比べて約半分の消火薬剤で消火

- ◆ ハイグレードな消火薬剤「リン酸アンモニウム」を90%以上含有
- ◆ 再燃防止作用と負触媒作用による高い消火能力

R型防災システム NDCR-30

中小規模の建物・工場に展開可能、
P型市場で活躍できるNDCのR型火報システムです。
R型の特徴を活かして、安心・安全を付加いたします。

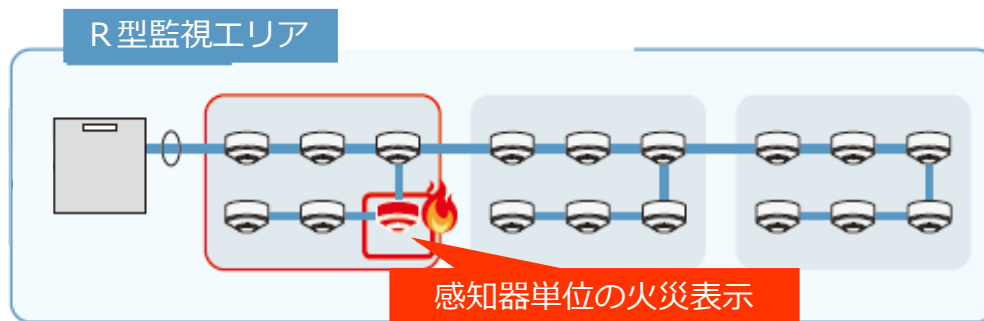


R型防災システム NDCR-30

R型システムの特長は、
火災が発生したときに発報した感知器を特定できることです



R型受信機
NDCR-30



P150受信機

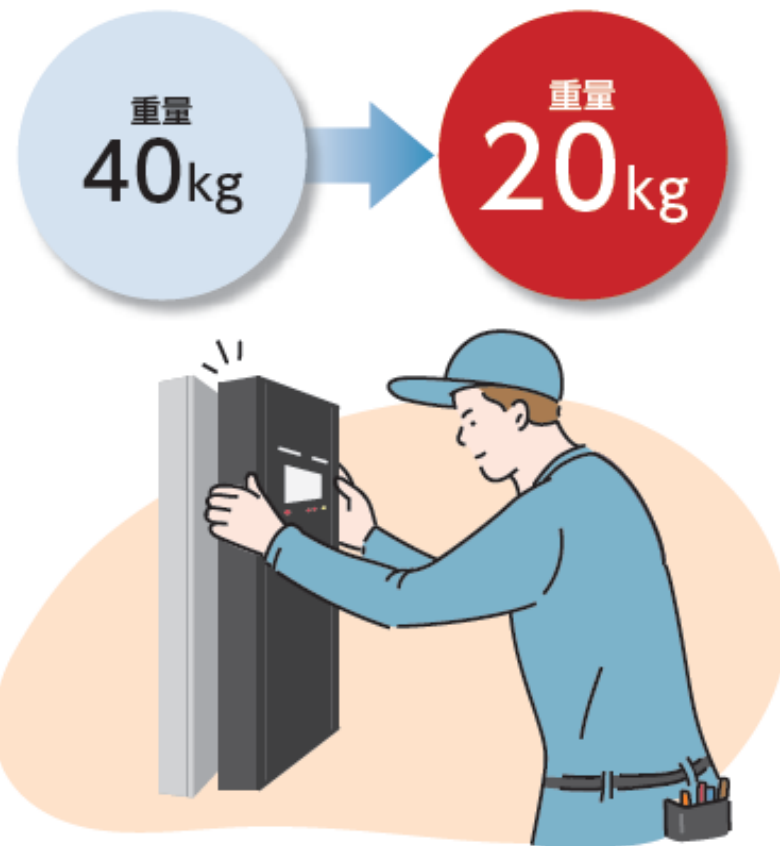


!!Point!!

R型システムは火災発生時だけでなく、故障の際も感知器の特定が容易

R型防災システム NDCR-30

NDCR-30は、従来に比べ小型化したことで施工しやすくなりました（当社比）



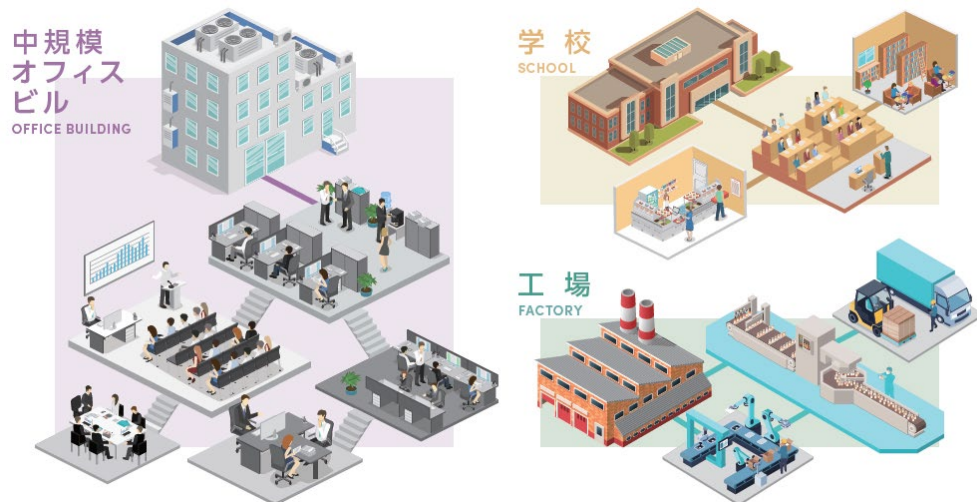
!Point!

P型複合受信機50回線に比べ小型化・軽量化、取り付け作業の負担が軽減

R型防災システム NDCR-30

NDCR-30は、様々なシチュエーションに対応したR型システムです

おすすめの設置場所



1 受信機



2 定温式スポット型
感知器



3 差動式スポット型
感知器



4 煙感知器



5 機器収容箱
消火栓内蔵型



!Point!

- ✓ カラー液晶画面による表示で見やすさUP！分かりやすさUP！使いやすさUP！
- ✓ アドレス設定器、デバイスエディター、感知器着脱器など周辺機器も充実
- ✓ シンプルな配線で、設計・施工・メンテナンスが容易

大型バス安全対策 エンジンルーム用消火装置

UN/ECE規則について

自動車の構造及び装置の安全・環境に関する国際統一基準の制定と相互承認を図るため、1958年に締結された国連欧州委員会(UN/ECE)の多国間協定が元になり、自動車の様々な構造や装置に関する規則 (REGULATION) が定められています。

ECE 1	前照灯	ECE 31	ハロゲンシールド	ECE 62	不正防止装置	ECE 97	車両警報システム
ECE 2	前照灯	ECE 32	後部衝突における	ECE 63	騒音(モベッド	ECE 98	ヘッドランプ(ガスディスチャージ式)
ECE 3	反射装置	ECE 33	前部衝突における	ECE 64	テンポラリーホ	ECE 99	ガスディスチャージ光源
ECE 4	後部番号灯	ECE 34	車両火災の防止	ECE 65	特殊警告灯	ECE 100	バッテリー式電気自動車
ECE 5	シールドビーム前	ECE 35	フットコントロール	ECE 66	スーパーストラ	ECE 101	CO2エミッションと燃費(乗用車)
ECE 6	方向指示器	ECE 36	バスの構造	ECE 67	LPG車両の特	ECE 102	クロス型連結装置
ECE 7	フロントおよびリア	ECE 37	フィラメントラン	ECE 68	最高速度測定	ECE 103	交換用触媒コンバータ
ECE 8	ハロゲン前照灯(ECE 38	リヤフォグランプ	ECE 70	大型車後部表	ECE 104	大型車両用反射板
ECE 9	騒音(三輪車)	ECE 39	スピードメーター	ECE 72	ハロゲン前照	ECE 105	危険物輸送車両構造
ECE 10	電磁両立性に関	ECE 40	排出ガス規制(二	ECE 73	大型車側面保	ECE 107	二階建てバスの構造
ECE 11	ドアラッチ・ヒンジ	ECE 41	騒音(二輪車)	ECE 74	灯火器の取り	ECE 108	更生タイヤ(乗用車)
ECE 12	ステアリング機構	ECE 42	バンパー	ECE 75	タイヤ(二輪車	ECE 109	更生タイヤ(商用車)
ECE 13	ブレーキ(カテゴ	ECE 43	安全ガラス材料の	ECE 76	前照灯(モベッ	ECE 110	CNG 使用車
ECE 13-H	ブレーキ(M1)	ECE 44	幼児拘束装置	ECE 77	パーキングラン	ECE 111	転覆安定性(カテゴリーNおよびOのタンク車)
ECE 14	安全ベルト(シー	ECE 45	ヘッドランプ・クリ	ECE 78	ブレーキ(Lカ	ECE 112	前照灯(非対称すれ違いビーム)
ECE 15	排出ガス規制	ECE 46	後写鏡	ECE 79	ステアリング装	ECE 113	前照灯(対称すれ違いビーム)
ECE 16	安全ベルト(シー	ECE 47	排出ガス規制(モ	ECE 80	シート(大型車	ECE 114	交換用エアバッグシステム
ECE 17	シート	ECE 48	灯火器の取り付け	ECE 81	後写鏡(二輪車	ECE 115	LPG/CNG レトロフィットシステム
ECE 18	不正使用防止装	ECE 49	ディーゼルエンジ	ECE 82	ハロゲン前照	ECE 116	盗難防止装置
ECE 19	前部フォグランプ	ECE 50	灯火器(モベッド	ECE 83	エンジン燃料系	ECE 117	タイヤ単体騒音規制
ECE 20	ハロゲン前照灯(ECE 51	騒音	ECE 84	燃費測定法	ECE 118	バスの室内艙装品難燃化
ECE 21	内部突起	ECE 52	小型バスの構造	ECE 85	馬力測定法	ECE 119	コーナリングランプ
ECE 22	モータサイクルお	ECE 53	灯火器の取り付け	ECE 87	データタイムラン	ECE 121	手動コントロール装置、テルテール、インジケーターの位置および識別
ECE 23	リバースランプ	ECE 54	タイヤ(商用車)	ECE 88	後方反射タイ	ECE 122	暖房システム
ECE 24	ディーゼル自動車	ECE 55	車両用連結装置	ECE 89	速度制限装置	ECE 123	AFS
ECE 25	ヘッドレスト	ECE 56	前照灯(モベッド	ECE 90	交換用ブレー	ECE 124	乗用車用ホイール
ECE 26	外部突起(乗用車	ECE 57	前照灯(二輪車)	ECE 91	サイドマーカ	ECE 125	前方視界
ECE 27	三角警告板	ECE 58	リヤアンダーラン	ECE 92	交換用消音装	ECE 126	仕切りシステム
ECE 28	警音装置	ECE 59	交換用消音装置	ECE 93	フロントアンダ		
ECE 29	商用車運転席乗	ECE 60	コントロール類の	ECE 94	前面衝突時における乗員の保護		
ECE 30	タイヤ(乗用車)	ECE 61	外部突起(商用車	ECE 95	側面衝突時における乗員の保護		

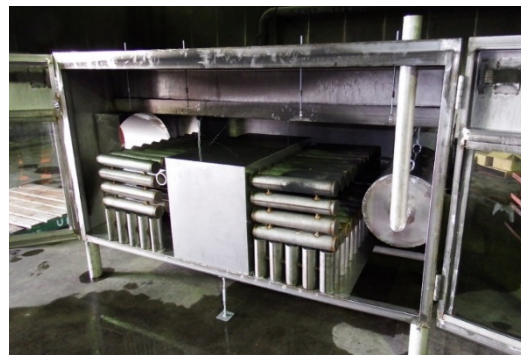
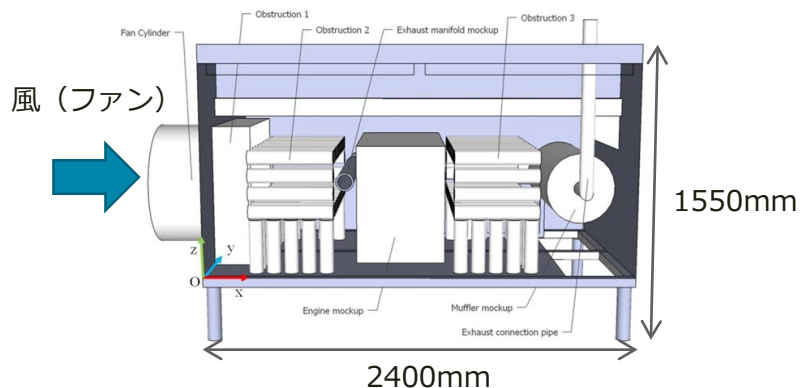
加盟国はこれらの規則を任意に採用することが可能であり、日本はピンク網掛けの規則を採用しています。

Regulation107は、**2016年に改正**され、新たに**消火システム**が追加されました。

大型バス安全対策 エンジンルーム用消火装置

UN/ECE規則R107 バスエンジンルーム消火試験

UN/ECE（国連欧州委員会）規則の Regulation No.107（R107）に定める消火試験にて性能検証
バスのエンジンルーム模型の中で、様々な位置に火皿や燃料スプレーノズルを設置し消火することを確認



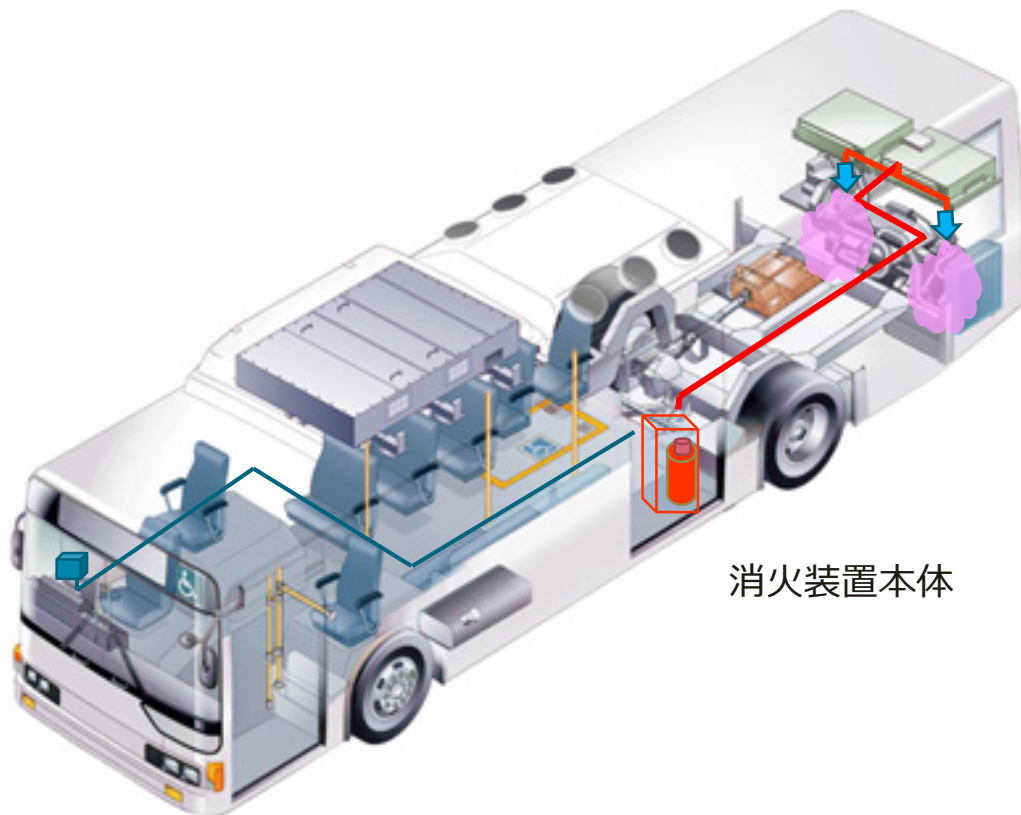
消火開始前



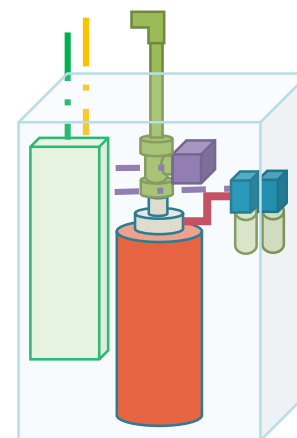
消火状況

大型バス安全対策 エンジンルーム用消火装置

消火システムの概要図



エンジンルーム



大型バス安全対策 エンジンルーム用消火装置



ご視聴ありがとうございます

本資料には当社の経営戦略などが記載されています。
これらの将来の見通しに関する記述は、現時点での仮定に基づく
ものであり、当該仮定を必ず保証するものではありません。

会社概要

商号	日本ドライケミカル株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード：1909)
設立	昭和30年4月23日
所在地	東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー
代表者	代表取締役社長 遠山 榮一
従業員数	連結1,032名 (2020年3月末現在)
資本金	700百万円 (2020年3月末現在)
連結売上高	39,846百万円 (2020年3月期)
事業所	札幌、東北、関東、東京、名古屋、北陸、大阪、九州
連結子会社	北海道ドライケミカル、日本ドライメンテナンス 総合防災、NDC Korea、広伸プラント工業

株式の状況 (2020年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 14,000,000株
- 発行済株式総数 7,181,812株
- 株主数 4,010名

順位	株主名	所有株数	持株比率
1	総合警備保障株式会社	1,100,000	15.71%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	441,300	6.30%
3	日本ドライケミカル取引先持株会	344,600	4.92%
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	234,700	3.35%
5	株式会社初田製作所	200,000	2.85%
6	新日本空調株式会社	192,000	2.74%
7	BNYM RE BNYMLB REGPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	188,400	2.69%
8	沖電気工業株式会社	178,000	2.54%
9	株式会社吉谷機械製作所	160,000	2.28%
10	株式会社東京エネシス	140,000	1.99%

- ※ 1.当社は自己株式180,624株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。